

京都市政の再生で暮らし応援

日本共産党
京都市会議員

西野さち子



今の京都市政を変えるには市長を変える必要があります。市民の暮らしを応援し、京都再生を目指します。市民の声が届く京都市を作りましょう！

東部クリーンセンターの跡地は売却でなく、市民のために活用を



東部クリーンセンター

東部クリーンセンターが廃止になりました。京都市は4万ヘクタール以上の広大な土地を民間に売却しようとしています。11月市会の補正予算で「醍醐地域はもとより京都の発展のため、跡地の早期活用に向け」と土壌調査の費用5千万円を提案しました。土壌の安全確認をして、市民のための活用をすべきです。

市営住宅の家賃減免制度を元に戻せ

2022年に市営住宅の家賃減免制度が改悪されました。これまで減免の適用で何とか家賃を払っていた方が減免の対象から外れる世帯も出てきています。急激に家賃が上がれば影響が大きいと5年かけて徐々に家賃を上げていき、ひどい人では5倍になる世帯も出てきます。家賃減免制度を元に戻してと署名が広がっています。



市営住宅

黒字分は市民の暮らしにまわすべき



9月市会での市長総括質疑で、直接市長に「コロナ禍と異常な物価高騰に苦しむ市民の暮らしを応援するためにも77億円の黒字分は市民のための活用をすべき。財政が大変というのなら、内部留保を増やし続けている大企業に応分の負担を求めるべき」と質しました。市長は「企業の実情が必要」と答弁しました。

議会の外でも

昼休み宣伝

ジェノサイドはストップ

京都市会議員団は、イスラエルがガザ地区で行っている病院など民間施設への攻撃とイスラム組織ハマスの人質の解放を求め、双方の即時停戦を訴え、昼休み宣伝を行いました。



ガザ侵攻は直ちに中止を

温暖化
ストップ

気候危機は待ったなし

「地球温暖化ではなく地球沸騰」と言われている異常気象が続いています。京都市会議員団は、全国の温暖化ストップの運動に呼応して、市役所前でアピールをしました。



ストップ地球温暖化アピールをする議員団